

環境経営論 2005年度 講師評価書感想集まとめ

平成17年8月4日
東京外国語大学 小野木正人

- シラバス通り東京外国語大学の ISO14001 取得を念頭において、身近で実感がわきやすかった。(2)
- ISO 中心に学びつつも、経営という考え方についても学ぶことができて良かった。
- 環境経営だけでなく、人生のためになる楽しい授業だった。(3)
- 概念的な講義だけでなく、より現実的な内容をワークという実践を通じて学べてよかった。(4)
- 環境評価が、いかに細かく、面倒くさく、大変な作業かということがわかった。
- 今までに大学で受けてきた講義の中で、これほど資料が充実していて、なおかつ計画された講義はなかった。
- ISO14001 の認証を受けた企業や団体が、その後どのように社会的責任を果たし、どんな経営的利益を得たか、また、効果が現れていない事例などももう少しみられるとよい。企業や団体の HP には良いことしか書いていないので、実際のところを知りたい。
- この授業に参加して環境とか経営だけでなく心理学の話なども面白かったし、背のびなどストレッチの時間があつたのもよかった。どちらも、リラックスや集中力維持のためにととても大切だと思う。(3)
- 授業の合間の心理テストや将来につながる話は、気分転換になるだけでなく、とてもためになった。
- 大学の先生はいつも遅刻をしてくる人が多いが、この授業ではそういうことがなくて感動した。(2)
- ISO14001 の概念だけでなく、ポジティブ思考、2:8理論など、実生活に役立つことを教えてもらえてとてもよかった。就職する企業を選択する項目に、「環境問題について真剣に取り組んでいるか」ということを必ずいれようと思う。進路選択を考えるきっかけを与えてもらった。
- 初めて集中講義を受け、やはりかなりエネルギーのいるものだったが、環境経営というものの姿が少しでもわかって嬉しい。
- グループワークがたくさんあり、他の受講生の意見を聞きつつ自分の考えを深めたり、自分の思いもつかないアイデアを聞くことができて視野が広がった。この経験は、社会に出てからも役立つと思う。(3)
- グループ討論があつたため、受身にならなくて良かった。それには、本物に近いワークシートの役割が大きかったと思う。また、討論を通じて友達も増え、最高の授業だった。
- グループワークでのブレインストーミングが面白かった。もっとこういう授業を増やせば、日本人も積極的に意見が言えるようになるのではないかと思った。
- グループワークはとてもためになったが、いつも同じメンバーだったので、日によってメンバーを変えると、また新鮮な感じで取り組めるのではないか。(2)
- 自分たちでディスカッションしながらワークシートを仕上げてゆく作業はためになった。自分で考えながら行なつたことは忘れにくいし、実践を考えるのも良い経験になった。
- この授業を受けてから自然とスーパーやコンビニで袋をもらわなくなり、明らかに環境に対する意識が強くなった。それは、この授業がインプットだけでなく、アウトプットする場も与えられた授業だったからだと思う。
- パワーポイントの資料も配ってもらえたので、ノートをとる事に追われず、集中して授業を聞くことができた。(4)

- 最初は難しく全ての内容は理解できないと感じたけれど、初心者にもわかりやすく説明してもらえてよかった。環境経営論そのものに、興味を持つことができた。(4)
- この授業は、生きる事における考え方を教える授業だった。日々を生きるのに精一杯の国もあるが、環境問題には世界全体で取り組んでゆかなければならない。そうした側面を垣間見られた事は、人生に大きな影響を与えると思う。ありがとうございました。
- ここまで実践的に、また積極的な姿勢で授業に参加し、学ぶことができたのは初めてだった。環境経営論以外の思考の話やエゴグラムなども興味深く、良いスパイスになっていたと思う。
- 心理学や就職の話など、私たちが将来社会人になることを前提に話をしてもらえて、刺激になった。
- アンケートで質問したことに答えてもらえて嬉しかった。他の授業よりも、社会に近い授業という感じで、ほんの少しだが企業がやっていることに触れられて良かった。(2)
- エコツアーや工場内など、実際の映像を交えた授業が印象的だった。企業と環境方針について、多様な見方ができるようになったと思う。(4)
- 環境に興味があり、将来的にもずっと関わっていきたいと思っている。今回学んだ経営や企画はとても面白かったので、自分に合った仕事を見つけたい。
- この授業で学んだアウトプットの訓練や、チームワークは、就職してからも重要になると思う。また、講師評価をさせてくれるところも良かった。学生が授業を変えていく、作っていく、という感じがした。
- 様々な課題や、アウトプットの方法など、通年の授業でしっかりと学びたいと思った。今回の授業は ISO の基礎だったので、続きの授業があれば是非受講したい。
- 楽しい授業をありがとうございました。その場の知識だけでなく、将来を見据えた情報をたくさん伝えてもらったと思う。アウトプット理論や、心理学の側面から見た経営学など、聞いたことも考えたこともなかったもので、純粋に感動した。
- 「基礎能力」こそ重要だということを、絶対に覚えておこうと思う。それと、アウトプットをして、人にわかりやすく伝える訓練を心がけようと思う。
- 環境に興味を持ち、意識しているつもりだったが、知らないことや勘違いしていたことの多さに驚かされる四日間だった。
- 日本は環境問題では、ヨーロッパにかなり遅れを取っていることがよくわかった。今までは4Rのうちリサイクルのことばかり考えていたので、ほかの3Rについても自分で行うことに取り組んでいきたい。
- 環境経営だけでなく、マネジメント全般、コミュニケーションについても理解が深まった。
- 一人一人の力をうまく引き出すディスカッションを用いて、考えさせてもらった。それによって知識が身についた感じがした。
- この講義で、地球と優しくつきあってゆく方法を教えてもらったことに感謝している。機会があれば、また別の講座でお会いしたい。
- 大学の先生によくある研究者というタイプではなく、企業の社長であり、大学院生でもある講師ということが良かった。大学院で何をしているかとか、社長の目からみた学生に求めることなど、授業とは関係ないがためになった。
- ワークの時間が、足りないときも余るときもあった。グループによって作業時間が違うので、早めに終わったところから休憩に入っても良いのではないかな。
- ワークの時間をとりすぎだと感じることもあった。長くても30分くらいで一度切って、フィードバックを与えた後に更に延長するなどの方法をとってはどうか。
- 専門用語が何を指すのかわからなくなることがあったので、用語集などがあると良かった。

- ワークでやったコピー用紙削減の視点から考えると、授業で配られた資料も、両面印刷や縮小コピーなどにしても良かったのではないかな。
- 配布された資料は、ほとんど教科書に載っていることだったので、教科書の購入を徹底すれば必要ないのではないかな。(2)
- 学生全体に問いかけても無反応なことが多かったが、それぞれ意見は持っていると思う。どんどん学生を指名して、発言を求めた方が良さそう。(2)
- ワーク後に、他のグループの結果を知るなどのフィードバックが欲しかった。
- ISO と人については理解できたが、監査についても勉強したかった。
- 資料中の文章に！マークが多いのが気になった。その箇所が大事なのはわかるが、多用すると読みにくい。(2)
- ISO 取得の方法を学ぶのも良いが、企業の環境経営の実態をもう少し教えて欲しかった。
- 声量がやや小さい。語尾が聞きとりにくいことがあった。(2)
- アウトプットは確かに必要だが、インプットが少ないとアウトプットはできない。インプットの量が少なく、授業全体が緩い感じがした。
- 外大の学生は外国語を専門にしているが、語学だけでは社会に出て役に立たないこともよくわかっている。環境経営論のような授業を受けて、自分に何が適しているか探っていると思うので、もっと具体的にわかりやすい授業を提供して欲しい。
- 外大をベースに EMS を考えるのは身近だが、数値は予想や過程なので、具体的にはっきりした数値を元にしたワークもしてみたかった。
- 短期間なので難しいかもしれないが、少人数の授業なので、先生が生徒の名前を覚えてくれれば、先生と生徒の間に双方向のベクトルが生まれ、更に充実した授業になると思う。(2)

以上